「○」(わ) 2018年号
平成4年(1992年)11月創刊
平成30年(2018年)2月発刊
通刊第26号

編　　者：武蔵大学剣友会
編　　集：桑原　則行
発　　行：武蔵大学剣友会

長谷川先輩ご逝去

長谷川先輩は、12月1日の夕刻に肺がん治療の入院先の病院で病状が急変し急逝なされたとのことで、事態が急であったため親族だけで葬儀を執り行ったとのことでした。今後の法事等はまだ未定とのことでしたが、49日法要と菩提寺への納骨式には、剣友会から何人かの参加をお許しいただきたい旨、お願いしてあります。皆様と共にご冥福をお祈りしたいと思います。

武蔵大学剣友会長　紙谷正之

長谷川先輩を偲んで

武蔵大学剣友会会長　紙谷正之

大きな支えを失いました。本当に残念な思いに駆られました。創部以来の長谷川先輩の武蔵大学剣道部・剣友会への思い入れ、会員諸兄姉を想う気持ちの深さ、心からの感謝：以外の言葉はありません。あまりの突然の訃報連絡で驚かれた方から多くのお問い合わせをいただきました。長谷川先輩への回想は諸兄の追悼文に譲り、経緯を知る会長としての報告をさせていただきます。

公にはしていませんでしたが、私が長谷川先輩の異変に気が付いたのは昨年4月でした。

この数年は、道場に来て着替えしても稽古をしないで見ていることがあり、【膝が悪化していて今日はやれないよ】と言われ、特に気になるほどではありませんでした。

ところが、昨年の稽古はじめの新年会、追いコン、新歓コンパと立て続けに私用を理由に欠席されたことからさすがにおかしいなと気が付きました。長谷川先輩が節目の会に欠席されたことは創部以来ほとんどなかったからです。そして6月の西川清紀先生の範士受称記念祝い会に出席の連絡をいただいた時には安心したんですが、会の帰り際に『紙谷、俺いろいろあったからしばらく雲隠れするからな。休養だよ。連絡つけにくいかも・・・。

欽ちゃんを励ます会（S45卒リハビリ中）には出るよ』と言われました。前年、奥さんが急逝され何かと大変な時を過ごされた後でしたので、私は先輩が節目と言っていた喜寿の検診とか気晴らしの旅行にでも行くんだろうな、くらいの受け止めでした。

ところが、以前は月に2回は電話で話をしていた先輩と何度電話しても繋がらず、8月終わりにはさすがに変だと思い、ひょっとしたら・・・と胸騒ぎがしました。

間違っても良いと思い、以前の先輩との会話で記憶に有った国立病院に行って受付で聞いたところ、なんと2か月入院していると言われ驚きました。病室に入って行ったら、先輩は、【なんでここが分かったんだ?】、私はベッドに横たわる先輩の姿に正直【唖然・・・】でした。その時初めて【肺がんであること、放射線治療中で9月にいったん退院して12月に再入院し今後の治療方針が決まること、そしてこのことはお前の胸のうちにしまって誰にも口外するな】と言われました。長年の付き合いで、長谷川先輩の気性は十分理解していますので、それから2か月は電話連絡だけで我慢していましたが、我慢できずに剣友会創設以来の長谷川先輩に信頼の厚い水木先輩、松井兄に相談しました。いつでも自分の事は我慢して後回しにする先輩の言うことだから思いを大事にして12月まで待とうということになりました。

私が最後に電話で話したのは11月18日、先輩から元気な声で【11月23日に再入院する。状況を連絡するからその後はお前

の判断で会に連絡してくれ】と言われました。しばし剣道部現役の現況報告をしたなかで、先輩も報告に喜びこれから楽しみだと期待してくれていました。

12月6日、松井兄から『自宅に電話したら長谷川先輩が亡くなられて葬儀もおわったと留守居の人に言われた』と私に電話がありました。まさかと思い携帯に連絡しましたが繋がらず、留守電を聞いたご子息から2日後に連絡を受けました。

家族としても突然のことで親族だけで執り行ったとのことでした。長谷川先輩の訃報を知ったすべての武蔵大学剣友会員が驚きと哀悼の念を抱いたことと思います。

会長として本当に大きな支えを失ったとの思いを抑え、先輩に深い哀悼の念を表するとともに、先輩が創り育ててくれた武蔵大学剣道部・剣友会の益々の発展を念じて引き継いでいく所存です。安らかにお眠りください。

合掌

長谷川勲先輩を偲んで

武蔵大学剣道部　師範　笹岡　秀次

約45年前が、当時すでに剣道部ＯＢとして大学道場に来られ、稽古をつけて頂いていた長谷川先輩との剣縁の始まりでした。

先輩は、現役学生に対して指導される際、好調な者に対しては一言の助言、指導はせずに只見守るだけなのに対して、不調な者、迷っている者をいち早く見付け出し、その学生に対して不調の原因、改善方法を的確に且つ分かり易くご指導されておられました。

ご指導を受けた一人として、その時の長谷川先輩の真摯な態度、具体的な技術指導そして何よりもその真剣な眼差しが今でも脳裏に焼き付いています。

稽古後の雑談などではとても優しい先輩であったのですが、当時の関根師範に、コテンパンにされ「青大将、もう剣道なんかやめて、家に帰れ」と怒鳴られていた学生（私）をこっそり呼び寄せ、師の本意をそっと伝え教えてくれたのも長谷川先輩でした。

先輩のご指導は、私がＯＢになった後も、何度かいただくことができたのです。ある時、先輩に稽古をお願いしたとき、稽古後の感想を「蛇（先輩）に睨まれた蛙（私）」であったことを先輩にお話ししたことがありました。先輩は、「そうか」と言われただけで、『ニヤリ』とされただけでありましたが、今思うと、格の違いもさることながら、先輩は真剣による剣道をしていたのに対し、私は竹刀での剣道であったのです。打った打たれたの競技剣道ではなく、切るか切られるかの武道を追及され、そしてそれを私達にご指導してくれた先輩でありました。

武蔵大学剣道部を創設された長谷川先輩、長谷川先輩の真の武道としての剣道を追及する心意気は脈々と後輩たちに引き継がれ、武蔵の剣道として育っております。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

長谷川　勲　先輩を偲ぶ

昭和39年卒業　土屋一徳

私は昭和35年4月武蔵大学入学と同時に剣道同好会会員となりました。当時、同期生で初心者は私一人で道場の片隅で黙々と竹刀を振る日を続けておりました。

その中で時折、自分の稽古を止め竹刀の握り方や足捌きを親切に指導してくれたのが長谷川先輩でした。

後日、先輩が私立武蔵高校出身で、かつ特待生だと聞き、憧れる様になりました。

私が二年生の時、先輩の働きで晴れて剣道部に昇格しました。

先輩が武蔵高校出身者であることにより、武安義光氏（前全日本剣道連盟会長）、景山二郎氏（元警察庁警備局長）、大野氏（元大阪府本部長）はじめ国立大学の現職教授等々数多くの方々が指導に来てくれました。稽古後の道場で、諸先輩の体験談を拝聴出来たのも良い思い出です。

大学卒業後も先輩のお誘いで衆議院武道場で稽古をさせて頂いたり、旧制ＯＢ達と山梨県三ツ峠の近くの合宿場行ったり出来ました。更に、元日本鉱業会長佐々木陽信氏の計らいにより、赤坂の同社クラブ寮では、当時の日本通運会長広瀬氏、東武鉄道社長根津氏等々経済界で活躍中の方々と親しく飲み交わす事が出来ました。これが先輩が常日頃言われた『剣縁』だと強く感じました。

又、私が卒業後、不器用な私を見捨てずに指導して下さった竹内三郎先生、松森信秀先生を通じご紹介された警視庁剣道指導室元首席師範、田口榮治先生、梯正治先生、西川清紀先生を大学道場や夏合宿にお連れした際も先輩は快く迎えて下さいました。

思い起こせば、微力な私を剣道部監督やＯＢ会長に推薦してくれたのも先輩でした。近年、先輩とは剣道指導をいただいておりませんでしたが、会えば必ず稽古をいただき、「お前さんなあ」と批評を聞き、酒を酌み交わすのが楽しみでした。

時には、先輩のタバコの吸い過ぎが気になっておりましたが、元気な声で話されていたので「まあいいか」と考えておりました。昨年十二月に行われた大学ＯＢ剣道大会の会場も新小岩だったので十日前頃、試合が終わったら一杯飲もうかと考えた矢先に訃報を聞きました。

長谷川先輩、あなたは我々剣道部並びにＯＢに対し、『剣縁』の大切さの遺産を残して下さいました。本当にありがとうございます。心からご冥福をお祈りします。

剣縁人生

昭和43年卒業　水木　征二

剣縁人生を貫かれた長谷川先輩、お疲れ様でした。

一足早く旅たたれた素子夫人と一緒に、あの世で何を思っていますか？

新潟鉄工にお勤めの先輩は、監督として土曜午後からの稽古、そして日曜の試合には必ず参加されました。部に昇格して3・4年目、何とか実績をと警視庁のバリバリの師範関根先生とともに稽古に明け暮れました。部員の増えた昭和41年、猛特訓の末、ようやく4大学戦で初優勝を勝ち取ったのです。これが最初の1ページです。

また、旧制武蔵高校の先輩方を錬心館に足を向けるお膳建てもしてくださいました。休みはなく、剣道漬の日々の連続でした。酒が唯一の癒しだったのでしょうか？

名門、武蔵高校から武蔵大学に進まれた先輩は、特待生に選ばれる程、学業も優秀でした。大学に剣道同好会を作り仲間を集め、やがて人も増え部に昇格、そんな時、中高の師範に招聘された関根先生を口説き落とし、大学の師範に招かれました。また、旧制武蔵高校の錚々たる先輩方との縁が、土日の自主稽古に繋がり、官財界の超大物先輩方と親しく竹刀を交え、酒を酌み交わす場になりました。その後の剣友会員の大きな財産になったことは間違いありません。

練馬剣連、都剣連、全剣連（景山、武安両氏は武高先輩で2台続いて全剣連会長）あるいは関根先生の縁から警視庁の先生との結びつきも作っていただきました。

千葉に転居後は、千葉大の門をたたき、若い部員たちに剣の心得を説かれるなど、自身の心身鍛錬につながる剣縁をとても大切にされました。

さらに武蔵大学剣友会初代会長として、武蔵大学剣道部、武蔵大学剣友会のために尽力していただきました。本当にお疲れ様でした。今や、武蔵大学剣友会はどこに出しても立派に通用します。いやむしろ他校から羨まれる組織です。あとは紙谷会長を中心に先輩の志を大切に受け継いでまいります。

どうぞ心安らかにおやすみください。そしてあの世でも酒を楽しんでください。

長谷川大兄を偲んで

昭和46年卒　松井邦夫

我ら武蔵大学剣友会の長谷川勲大先輩が昨年12月に亡くなりました。

12月9日に、千葉市に在る老人ホームに見学に行く事となり、入院中と聞いていた長谷川先輩にお会いしてお見舞い申し上げようと思いたち、お電話を差し上げたところ、電話に出られた方が「長谷川は、一日に亡くなりました」とおっしゃられたので、しばし呆然となりました。

亡くなる前に一目お会いしてお礼を申し上げておけばよかったー、と後悔すること頻りです。

大学を卒業する前の年（昭和45年）の事です。就職も決まって道場に顔を出した時、「おい松井。うちの会社でアルバイトしないか」とお誘いを受けました。当時、長谷川先輩は大和ヤという和装小物を製造販売する会社にお勤めになっていらっしゃいました。アルバイトの仕事と云うと、近所にある下請けの工場を廻って出来上がった製品を回収したり、製品の部材を工場に配る仕事と、まとまった製品を浅草橋にある営業所へ届ける仕事、そして時々社長のお出掛けの運転です。或る日、会社の前に車を停めて製品の荷下ろしをしていると、会社の奥にある総持寺の若い僧侶が4、5名やって来て「邪魔だ、移動しろ」と凄みました。通りかかった長谷川先輩に事情を説明すると、「判った、待っててくれ。」とおっしゃって、その僧侶達の所へ行って暫く話をしていましたが、やがて戻って来て「もう何も言ってこんだろう」とおっしゃいました。どんな話をされたのか、知る由もありませんが、私が仕事をし易い様に、段取りしてくださったのでしょう。長谷川先輩には、もっと学ぶべき事があった様で、今となっては残念でなりません。『難しい事考えてないでへらへら～とやっときゃいいんだよ。』と云う声が聞こえてくる様です。

第五回武蔵大学剣道部杯 高校生剣道大会　開催

平成29年11月12日（日）第五回武蔵大学剣道部杯高校生剣道大会が、高校生らしい躍動感あふれる試合展開の中で終えることができました。学生達の運営フォーメイションの良さが素晴らしかったと思います。当日ご支援いただいたＯＢＯＧの皆様に感謝いたします。

男子結果　優勝　都立富士
準優勝　鎌倉学園（神奈川）
3位　郁文館（東京）
都立多摩工業
女子結果　優勝　淑徳巣鴨
準優勝　日大高校（神奈川）
3位　東海大菅生
都立晴海総合

高校剣道部顧問との関係強化が確実に進展していることを実感しています。部活の中での生活態度、武蔵大学の学業レベルに適した前向きな生徒を選択してくれているの分かります。大切な関係として維持していきたいものです。皆様の出身高校との関係強化等の支援宜しくお願いします。

武蔵大学剣友会長　紙谷正之

第28回学連剣友剣道大会

鳳凰杯
ベスト8入りの大健闘！
竜王杯
高橋輝OB　敢闘賞受賞！

平成27年12月17日（日）、墨田区総合体育館に於いて、第28回学連剣友剣道大会が盛大に開催された。

この大会は、22歳から80歳を越えるOB・OGが「生涯剣道」を具現する場として高く評価されている大会で、今回は計1171名が一堂に会した。

我が武蔵大学剣友会も例年以上に力のこもった戦いを繰り広げ、壮年の部（鳳凰杯）ではベスト8入りを果たした。

今大会より新設された「敢闘賞」（1回戦・2回戦の敗者チームの中から特に模範となる良い試合をした選手に与えられる賞）では、竜王杯4名の中に高橋輝OBが見事選出、受賞されました。

①・若手の部の竜王杯は7人制、1回戦東京電機大学に勝敗者数同数で、取得本数一本差の惜敗。

②・壮年の部の鳳凰杯は5人制、1回戦流通経済大学、2回戦中央大学、3回戦早稲田大学（一本勝負の代表者戦で勝）、4回戦 筑波大とよく戦いましたがに3敗2分けの負けでした。（ベスト8でしたが本年は、全国大会がありません。2年に一度開催）因みに、筑波大は決勝戦で国士舘に敗れ準優勝でした。

③・高齢者の部の天行杯は3人制、1勝2敗でした。大阪から参加の大将小池先輩が意地を見せて勝ちました。

今年は、大阪、山形、新潟2名、千葉館山等の遠方から、5選手がかけつけてくださいました。各地での地道な稽古をいかんなく発揮してくれたと感謝です。

選手の皆さんの健闘に拍手です。来年は2年に一回の全日本学連剣友大会がかかった年です。今後の更なる精進に期待します。

若手が来年は強化合宿を企画したいと言っていました。参加者が多数になることを期待します。

平成28年度武蔵大学剣友会総会開催

平成32年（2020年）、創部60周年記念行事開催も承認！

平成29年7月8日（土）、10号館会議室に於いて開催された総会は、左記の各議案について討議され、全ての議案が承認された。

第1号議案　平成28年度活動報告
第2号　平成28年度決算報告
第3号　平成29年度活動計画
第4号　平成29年度予算案
第5号　平成29年度役員承認の件
第6号　その他

（平成28年度松森基金決算も、併せて承認されました。）

西川清紀先生　範士称号受称　お祝い稽古会

平成29年6月10日、西川先生　範士受称祝会として、稽古会と祝いの宴席が楽しく行われました。

遠方から、栃木在住の天沼兄、千葉館山から菅田（旧姓長瀬）兄、福島の菅野兄も参加され、西川先生の奥様も稽古会から参加され、全員が祝福の中で和気あいあいと進行しました。

西川先生の、剣道だけでなく日常のお付き合いの中で感じてきた真摯なお姿は、我々の中で本当に尊敬に値する方であると一致した感想が良く聞かれます。学生にもしっかりとその姿が記憶に残って今後に生かされれば最高だと思います。

「剣友会々費振込先のご案内」

みずほ銀行	渋谷中央支店	（普）	1525324	武蔵大学剣友会
三菱東京UFJ銀行	渋谷支店	（普）	6832924	武蔵大学剣友会
ゆうちょ銀行	〇一九支店	（当座）	192263	武蔵大学剣友会

OB･OG各位のご支援、宜しくお願いいたします。

【長谷川先輩と創部以来の物故者を偲ぶ会】

訃報発信以来多くの剣友会から偲ぶ会のお話をいただき、昭和年代の青春時代を共にした有志を中心に、下記の日程で行うことになりました。

2月24日土曜日　集合時間：午前11時　集合場所：地下鉄大江戸線練馬春日町駅改札
墓参：愛染院（練馬春日町駅から徒歩3分）
偲ぶ会：12時30分～15時　華屋与兵衛　練馬区早宮4－39　☎03－5999－8781
（高田幹事長携帯：090－7227－8748）
平成以降の方で、ご参加希望の方は、H24年卒加部兄宛連絡ください。（加部兄携帯：090－8430－2752）
武蔵大学剣友会長　紙谷正之（紙谷携帯：090－7216－1089）